

ぐんま認定介護福祉士養成研修について

趣旨

介護福祉士のキャリアアップの仕組みとして、平成21年度に全国で初めて自治体独自の認定制度「ぐんま認定介護福祉士制度」を創設。

ぐんま認定介護福祉士養成研修を修了し、認定試験に合格した方をぐんま認定介護福祉士に認定。

1. 目的

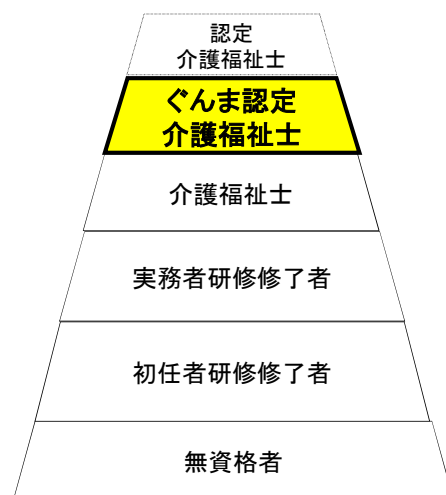
- ・介護施設・事業所等における介護チームリーダーとしての組織運営能力の修得及び介護の知識・技能の向上
- ・介護福祉士の意欲向上と職場定着を図り、介護の質を向上

2. 対象者

次の①～③のすべてを満たす者

- ①介護福祉士資格取得後実務経験が5年以上
- ②現在の勤務先(法人)に、継続して3年以上勤務
- ③所属する介護施設・事業所等の代表者からの推薦

【介護福祉士のキャリアアップのイメージ図】



3. 受講料

12,000円

4. 研修期間

講義・演習 20日間、他施設実習 1日間（計220時間）

5. 研修内容

- ・ターミナルケアと介護
- ・権利擁護とリスクマネジメント
- ・介護現場における人材育成
- ・他職種との連携、チームアプローチ など

6. 認定試験

- ・研修内容の習得状況の確認(選択式と記述式による)
- ・認定試験の合格者に対し、知事から認定証を交付

7. 認定状況

833人(累計)

令和4年度の申込状況等

申込期日: 4月11日～5月18日
開講日: 6月23日
受講者: 26人
認定試験: 令和5年1月20日
認証日: 令和5年3月8日

受講者の所属する施設・事業所
特養 9人、通所 6人、老健 5人、
訪問介護 1人、小多機 1人、
有老 1人、その他 3人

※令和3年度認定者の所属する介護施設・事業所等の代表者等アンケート

- ・職場のケアの質が向上した 76.5%
- ・以前より仕事に対して意欲的になった 64.7%